

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第48週の発生動向

全数報告の感染症 (48週までに新たに届出のあったもの)

- 1類感染症：報告なし。2類感染症：結核5例。3類感染症：報告なし。
- 4類感染症：つつが虫病5例。5類感染症：後天性免疫不全症候群1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	50歳代	女	無症状病原体保有者	—
			80歳代	男	肺結核及び腸結核疑い	血便
			80歳代	男	肺結核	咳、痰
		都城	70歳代	女	無症状病原体保有者	—
		高鍋	20歳代	女	無症状病原体保有者	—
4類	つつが虫病	宮崎市	60歳代	男	—	発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発疹
			40歳代	女	—	頭痛、発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発疹
		都城	70歳代	女	—	発熱、発疹
			80歳代	男	—	頭痛、発熱、発疹
		小林	80歳代	女	—	頭痛、発熱、刺し口、発疹
5類	後天性免疫不全症候群	都城	50歳代	男	無症候性キャリア	—

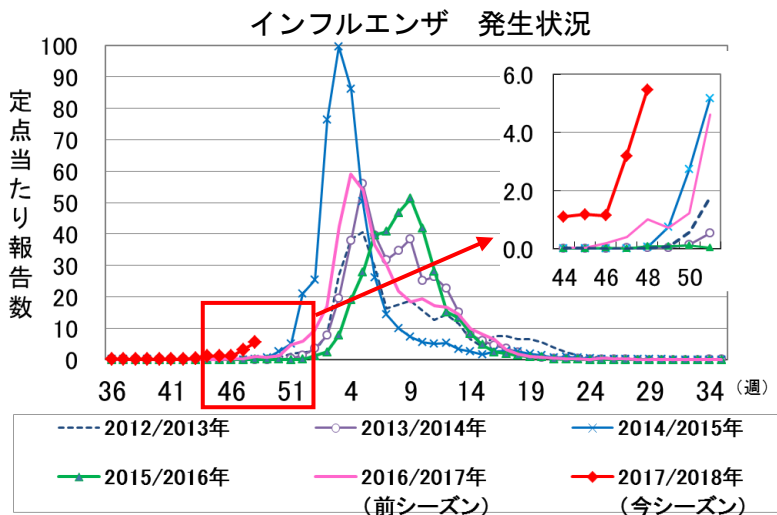
定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は1,002人(定点当たり26.4)で、前週比121%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はインフルエンザとA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患は手足口病である。

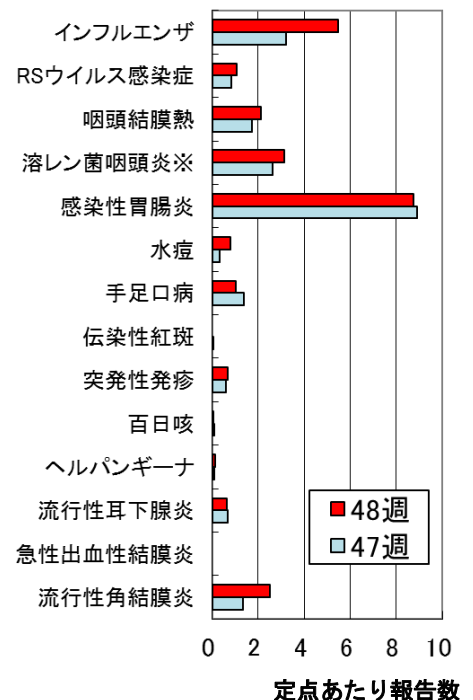
★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【インフルエンザ】

報告数は323人(5.5)で、前週比171%と増加しており、例年同時期の定点当たり平均値*(0.23)の約24倍である。日南(28.8)保健所からの報告が多く、年齢別は5~9歳が全体の約4割を占めた。



《前週との比較》



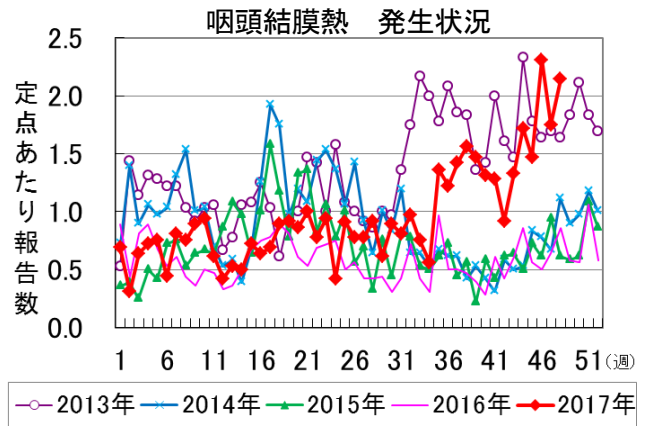
※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

【咽頭結膜熱】

報告数は77人(2.1)で、前週比122%と増加し、例年同時期の定点あたり平均値*(1.1)の約2.0倍である。中央(13.0)、小林(4.0)、都城(3.7)保健所からの報告が多く、年齢別は1~4歳が全体の約6割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

★基幹定点からの報告★
報告なし。



★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	咽頭結膜熱(3.7)
延岡	なし
日南	インフルエンザ(28.8)、流行性耳下腺炎(4.7)
小林	咽頭結膜熱(4.0)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	咽頭結膜熱(13.0)

* 流行警報レベル開始基準値 *
・咽頭結膜熱(3.0)

* 流行注意報レベル基準値 *
・インフルエンザ(10.0)
・流行性耳下腺炎(3.0)

□病原体検出情報(衛生環境研究所微生物部 平成29年12月4日までに検出)

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
EPEC(O63:H6)	60歳代	女	2017.11.09	水様性下痢、腹痛、嘔吐、嘔気	便	2017.11.21

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
RSウイルス	0~4歳	女	2017.11.20	遷延性咳嗽、下気道炎(気管支炎)	鼻咽頭ぬぐい液	2017.11.24
RSウイルス	0~4歳	男	2017.10.13	喘息様気管支炎、39°C、発疹、胃腸炎(下痢)、上気道炎(咽頭炎)、下気道炎(気管支炎)	咽頭ぬぐい液	2017.11.24
ライノウイルス	0~4歳	男	2017.10.30	左跛行(左不全麻痺)、38.0°C	咽頭ぬぐい液	2017.11.24
ライノウイルス	10歳代	男	2017.11.24	百日咳疑い、38.0°C	咽頭ぬぐい液	2017.11.24
ライノウイルス	0~4歳	女	2017.10.13	喘息様気管支炎、39.3°C、下気道炎(気管支炎)	鼻汁	2017.11.24
ライノウイルス	0~4歳	女	2017.10.23	上気道炎疑い、無呼吸発作	咽頭ぬぐい液	2017.11.24
ライノウイルス	0~4歳	男	2017.09.27	意識低下、無呼吸疑い、ショック症状(循環不全)、無呼吸疑い	鼻咽頭ぬぐい液	2017.11.24
ヒトメタニューモウイルス ライノウイルス	10歳代	男	2017.11.10	急性咽頭炎、39.3°C、上気道炎(咽頭炎)	咽頭ぬぐい液	2017.11.24
パラインフルエンザウイルス3型	0~4歳	女	2017.10.28	細気管支炎、下気道炎(気管支炎)、咳き込み嘔吐	咽頭ぬぐい液	2017.11.24
パラインフルエンザウイルス4型	0~4歳	女	2017.10.24	ヒトメタニューモウイルス疑い、上気道炎	鼻汁	2017.11.28
インフルエンザウイルスAH1pdm09	5~9歳	女	2017.10.05	インフルエンザA型、40°C、上気道炎(咽頭痛)	咽頭ぬぐい液	2017.11.28
インフルエンザウイルスAH3	60歳代	女	2017.09.27	インフルエンザ、39.0°C	鼻汁	2017.11.28
インフルエンザウイルスAH3	0~4歳	男	2017.11.06	インフルエンザA型、39.4°C、頭痛、上気道炎(咽頭炎)、下気道炎(気管支炎)	鼻汁	2017.11.28
インフルエンザウイルスAH3	0~4歳	男	2017.11.13	インフルエンザA型、39.2°C、上気道炎、胃腸炎(嘔吐、嘔気)	鼻汁	2017.11.28
インフルエンザウイルスB (山形系統)	50歳代	女	2017.11.01	インフルエンザB型、38.6°C、筋肉痛、関節痛、咽頭炎	鼻汁	2017.11.28
エコーウイルス7型	5~9歳	女	2017.09.11	不明の発疹症、38.5°C、発疹(丘疹)	咽頭ぬぐい液	2017.11.24
エコーウイルス9型	0~4歳	女	2017.10.16	エコーウイルス疑い、発疹	咽頭ぬぐい液	2017.11.21
エコーウイルス18型	0~4歳	男	2017.10.26	不明の発疹症、37.8°C、発疹(紅斑)	咽頭ぬぐい液	2017.11.21
エコーウイルス18型	0~4歳	男	2017.10.06	不明の発疹症、38.7°C、発疹(丘疹、紅斑)、脂眼	咽頭ぬぐい液	2017.12.04
コクサッキーウイルスA6型	0~4歳	男	2017.08.28	不明の発疹症、38.5°C	咽頭ぬぐい液	2017.12.04
コクサッキーウイルスA10型	10歳代	女	2017.10.03	ウイルス感染症、39.0°C、発疹	便	2017.11.24
コクサッキーウイルスA10型	5~9歳	女	2017.10.06	ヘルパンギーナ疑い、39.6°C、咽頭炎	咽頭ぬぐい液	2017.11.24
コクサッキーウイルスB2型	0~4歳	女	2017.08.27	不明熱、39.0°C、関節痛、リンパ節腫脹	便	2017.12.04

○インフルエンザと診断された5名からインフルエンザウイルスが分離された。その内訳はAH3が3名、AH1pdm09が1名、B（山形系統）が1名であった。全国のインフルエンザウイルス分離・検出状況を見ると12月1日現在ではAH1pdm09が優位である。宮崎県では昨シーズンと比較すると1ヶ月早く流行期に入っており、今後、流行が拡大する可能性があるため注意が必要である。

🇯🇵 全国 2017 年第 47 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第47週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	307 例				
3類感染症	細菌性赤痢	4 例	腸管出血性大腸菌感染症	28 例	腸チフス	1 例
4類感染症	E型肝炎	5 例	A型肝炎	2 例	つつが虫病	35 例
	デング熱	4 例	日本紅斑熱	2 例	日本脳炎	1 例
	マラリア	2 例	レジオネラ症	17 例	レプトスピラ症	1 例
5類感染症	アメーバ赤痢	9 例	ウイルス性肝炎	3 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	13 例
	急性脳炎	5 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	5 例
	後天性免疫不全症候群	14 例	ジアルジア症	2 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	46 例	水痘（入院例）	6 例	梅毒	52 例
	破傷風	1 例	風しん	1 例	麻しん	1 例

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比105%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザと感染性胃腸炎で、減少した主な疾患は水痘とヘルパンギーナである。

インフルエンザの報告数は7,280人(1.5)で前週比191%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値*(0.73)の約2.0倍である。沖縄県(4.9)、長崎県(4.5)、愛媛県(3.4)からの報告が多く、年齢別では5～9歳が全体の約4割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は17,344人(5.5)で前週比112%と増加したが、例年同時期の定点当たり平均値*(10.0)の約0.5倍である。愛媛県(11.4)、大分県(9.5)、宮崎県(8.9)からの報告が多く、年齢別では1～4歳が全体の約半数を占めた。

咽頭結膜熱の報告数は2,185人(0.69)で前週比103%とほぼ横ばいだが、例年同時期の定点当たり平均値*(0.43)の約1.6倍である。北海道(2.9)、富山県(2.0)、宮崎県(1.8)からの報告が多く、年齢別では1～5歳が全体の約7割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週（計15週）の平均値

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2017年 第48週(11月27日～12月3日)

疾病名		第47週	第48週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	189	323	68	39	15	144	28	4	4	11	10
	定点あたり	3.20	5.47	4.25	3.90	2.14	28.80	5.60	0.67	2.00	1.83	5.00
RSウイルス 感染症	報告数	30	39	11	3	1	2	3	15		4	
	定点あたり	0.83	1.08	1.10	0.50	0.25	0.67	1.00	3.75	0.00	1.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	63	77	24	22	3		12	3			13
	定点あたり	1.75	2.14	2.40	3.67	0.75	0.00	4.00	0.75	0.00	0.00	13.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	94	113	35	15	13	12	7	3	2	24	2
	定点あたり	2.61	3.14	3.50	2.50	3.25	4.00	2.33	0.75	2.00	6.00	2.00
感染性胃腸炎	報告数	321	315	92	72	34	41	23	20	8	22	3
	定点あたり	8.92	8.75	9.20	12.00	8.50	13.67	7.67	5.00	8.00	5.50	3.00
水痘	報告数	12	29	9	3	7	5	2	3			
	定点あたり	0.33	0.81	0.90	0.50	1.75	1.67	0.67	0.75	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	49	37	11	4	5	1	3	2	4	7	
	定点あたり	1.36	1.03	1.10	0.67	1.25	0.33	1.00	0.50	4.00	1.75	0.00
伝染性紅斑	報告数	2										
	定点あたり	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	21	25	4	4	6	5	3	2		1	
	定点あたり	0.58	0.69	0.40	0.67	1.50	1.67	1.00	0.50	0.00	0.25	0.00
百日咳	報告数	4	1	1								
	定点あたり	0.11	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	3	5	1	2		1				1	
	定点あたり	0.08	0.14	0.10	0.33	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	24	23	1	6		14		1		1	
	定点あたり	0.67	0.64	0.10	1.00	0.00	4.67	0.00	0.25	0.00	0.25	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	8	15	13	2							
	定点あたり	1.33	2.50	4.33	1.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2017年第1週～48週)

2類感染症	結核	176例(5)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	17例				
4類感染症	E型肝炎	3例	重症熱性血小板減少症候群	13例	つつが虫病	19例(5)
	日本紅斑熱	8例	レジオネラ症	9例	レプトスピラ症	2例
5類感染症	アメーバ赤痢	3例	ウイルス性肝炎	5例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	11例
	急性脳炎	4例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4例
	後天性免疫不全症候群	11例(1)	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例	侵襲性肺炎球菌感染症	14例
	水痘(入院例)	2例	梅毒	16例	播種性クリプトコックス症	1例
	破傷風	5例	麻しん	1例		

()内は今週届出分、再掲